

2012年02月29日

トヨタ自動車、タイのSTMでエンジン生産能力を増強

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)のタイにおけるエンジン生産会社であるサイアム・トヨタ・マニュファクチャリング(Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd.、以下、STM)は、アジアにおける需要の高まりに対応する為、2014年初より、カローラ系車両搭載用のZRエンジンの生産能力を、年間約10万基増強することを発表した。これにより、STMの年間生産能力は、約74万基から約84万基となる。

これに伴う投資額は約140億円、新規雇用は約200名を予定している。
STM製のエンジンは、引き続き、タイ国内に供給すると共に、ベトナム、台湾にも輸出する。

トヨタは「トヨタグローバルビジョン」において、新興国を重点取組み分野の一つとして位置付けており、車両生産に伴うユニット調達についても、「需要のあるところで生産する」という考え方のもと、今後も一層の現地生産を推進していく考えである。

<サイアム・トヨタ・マニュファクチャリング概要>

会社名	サイアム・トヨタ・マニュファクチャリング(Siam Toyota Manufacturing Co., Ltd.)
所在地	タイ国 チョンブリ県 アマタナコン工業団地内
代表者	村井 茂
生産開始	1989年
従業員数	約3,000人(2012年1月時点)
生産品目	エンジン
生産能力	年間74万基
資本構成	TMC:96%、セメントタイホールディング社:4%

以上